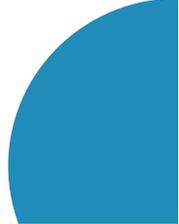


# 令和6年度 第2回 宇都宮市民大学運営協議会

【日時】 令和6年8月6日（火）  
午後2時00分～午後3時00分

【場所】 人材かがやきセンター研修室  
（宇都宮市中央生涯学習センター5階）



# 宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間  
(令和4年9月1日～令和6年8月31日)

1	◇	赤羽 幸雄	とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・ら マネージャー
2		荒井 隆	国立大学法人 宇都宮大学 社会共創・情報部社会共創・研究課長
3		薄羽 正明	学校法人 宇都宮美術学院 宇都宮メディア・アーツ専門学校 学校長
4		大石 和博	宇都宮共和大学 都市経済研究センター運営委員長 (シティライフ学部教授)
5		大谷 佳久	株式会社 栃木放送 報道制作局長
6		<u>片桐 幸枝</u>	宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員
7		齋藤 明彦	株式会社 下野新聞社 編集局総務部長
8	○	野中 正知	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 常務理事兼事務局長
9		馬場 知久	宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ グループ「宙」 代表
10	◎	丸山 純一	文星芸術大学 副学長 (美術学部 教授) 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会委員長

◎ 会長 ○ 副会長 ◇ 監事

※ 下線は新任の委員

# 宇都宮市民大学運営協議会事務局名簿

役職	氏名	備考
事務局長	塚田 真仁	教育委員会事務局 生涯学習課課長
事務局次長	横山 靖夫	生涯学習課課長補佐
事務局員	加藤 裕史	生涯学習課係長
〃	久保 孝弘	生涯学習課総括
〃	鈴木 豪	生涯学習課社会教育主事
〃	菊池 美咲	生涯学習課主任主事
〃	角田 佑樹	生涯学習課社会教育主事
〃	田中 大翔	生涯学習課主事
〃	釜井 羽依	生涯学習課主事
〃	金田 陽南子	生涯学習課主事
〃	塚田 哲夫	生涯学習課会計年度任用職員
〃	松永 佳寿子	生涯学習課会計年度任用職員
〃	藤田 莉帆	生涯学習課会計年度任用職員

# 1 開会

- (1) 委員紹介

# 2 議事

- (1) 報告事項

- ・ 報告第1号  
令和6年度宇都宮市民大学前期専門講座の実施状況について
- ・ 報告第2号  
令和6年度宇都宮市民大学後期専門講座の実施予定について

- (2) 協議事項

- ・ 協議第1号  
令和6年度宇都宮市民大学公開講座の実施について
- ・ 協議第2号  
令和7年度宇都宮市民大学の実施方針（案）について

# 3 その他

- ・ 宇都宮市民大学運営協議会の委員等の改選について

# 4 閉会

## 2 議事

### (1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学前期専門講座の実施状況について

講座企画・運営ボランティアスタッフ「宙」企画講座

#### 【Ⅰ 郷土を愛する宇都宮学コース】

① どうする宇都宮氏？生き残りをかけた天下人との交流  
～戦国の城郭都市多気の成立と終焉～

#### 【開催期間】

5月20日～7月8日（全8回）

#### 講師

宇都宮短期大学人間福祉学科 教授 江田 郁夫 氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
80名	140名	1.75倍	85名	75名（88%）	99%

#### 講座の評価

戦乱の世に生き残りをかけた宇都宮氏の奮闘とその具体的な成果の一つである城郭都市多気の役割について、講義と館外学習を通して深く理解することができる講座となった。

市民大学に登壇してほしい講師としてリクエストが多く寄せられている江田氏による講座ということもあって募集定員を大きく上回る応募があり、高い満足度、修了率となった。

また、受講者アンケートから、学習した多気山へ早速訪問したい、既に見学したことはあるが再度訪れたいという受講生も多数おり、講座終了後の自主学習にもつなげることができた。

## 2 議事

### (1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学前期専門講座の実施状況について

講座企画・運営ボランティアスタッフ「七福人」企画講座

#### 【1 郷土を愛する宇都宮学コース】

#### ② 「JAZZ」に寄り添う

～宇都宮ジャズ史をたどろう～

#### 【開催期間】

5月28日～7月9日（全7回）

### 講師等

うつのみやジャズのまち委員会	会長	吉原 郷之典 氏
うつのみやジャズのまち委員会	企画委員会委員	武井 貴志 氏
うつのみやジャズのまち委員会	企画委員会副委員長	川島 育郎 氏
うつのみや市民ジャズオーケストラ		
ジャズのまちカルテット		

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
80名	66名	0.83倍	65名	59名（91%）	92%

### 講座の評価

「宇都宮とジャズ」をテーマに、宇都宮のジャズの歴史や関連用語などの説明、曲紹介を交えながらの講話により、ジャズの魅力や音楽の楽しみ方についての理解が深まる講座となった。

最後の2回にわたり、講義に加え演奏披露による体験的要素を取り入れたこともあり、高い満足度、修了率となった。

さらに、アンケートで大谷コネクトで大谷石の音の響きを体感しながら演奏を聴くことができたという受講生の意見にあるように、地域資源を効果的に活用した講座を実施することができた。

## 2 議事

### (1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学前期専門講座の実施状況について

宇都宮共和大学連携講座

#### 【Ⅱ 今を読み解く現代社会コース】

- ③ 6つのヒントから人生の過ごし方を考える  
～魅力ある宇都宮で豊かに暮らすために～

#### 【開催期間】

6月7日～7月12日（全6回）

#### 講師

宇都宮共和大学子ども生活学部	准教授	新井	祐子	氏
宇都宮共和大学シティライフ学部	教授	田上	富男	氏
宇都宮共和大学子ども生活学部	専任講師	霜触	智紀	氏
宇都宮共和大学子ども生活学部	教授	月橋	春美	氏
宇都宮共和大学シティライフ学部	専任講師	永井	紹裕	氏
宇都宮共和大学シティライフ学部	専任講師	三浦	魁斗	氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
80名	26名	0.33倍	24名	19名（79%）	94%

#### 講座の評価

音楽、子ども、レク・スポーツ、表現力、刑法、大谷石といった様々なテーマについて学ぶことを通じて、今後の人生の過ごし方や社会との関わり方について改めて考えさせられる講座となった。

受講者数は募集定員を下回ったものの、ピアノの演奏をはじめ、事例研究、スマートフォンを活用した質疑応答などの様々な要素を取り入れたことにより高い満足度となった。

## 2 議事

### (1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学前期専門講座の実施状況について

講座企画・運営ボランティアスタッフ「長谷川浩美」企画講座

#### 【Ⅱ 今を読み解く現代社会コース】

④ ヤングケアラーの生活・思い・その後の人生のこと  
～より良い支援のために～

#### 【開催期間】

5月25日～6月22日（全6回）

### 講師

栃木県ケアラー支援推進協議会 委員 仲田 海人 氏  
元ヤングケアラー

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
40名	12名	0.30倍	12名	10名（83%）	100%

### 講座の評価

講師がヤングケアラーとして過ごした学生時代の経験談や現状と課題，支援方法の在り方などヤングケアラー全般を当事者目線で学ぶことができる講座となった。

募集定員に対し受講者数は3割であったが，座学に加え効果的な支援方法などを考えるワークショップを取り入れたことで，活発な交流により深い学びにつながり満足度は100%となった。

また，1日に午前と午後で2コマ連続の講座を実施するのは市民大学として初めての試みであった。

## 2 議事

### (1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学前期専門講座の実施状況について

講座企画・運営ボランティアスタッフ「宙」企画講座

#### 【Ⅲ 暮らしを彩る文化・教養コース】

##### ⑤ 柳田國男の栃木旅

～ルーツ探しから得た民俗学への道～

#### 【開催期間】

5月21日～7月2日（全7回）

#### 講師

栃木県立博物館	名誉学芸員	柏村 祐司 氏
利根町文化財保護審議会	委員長	古田 吉光 氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
80名	103名	1.29倍	86名	76名（88%）	95%

#### 講座の評価

柳田邦男の生い立ちや栃木県内での足跡、『遠野物語』発行までの背景などを学ぶことにより、柳田國男の真の姿に触れることができる講座となった。

募集定員を上回る応募があったことに加え、講義資料を事前に配布したことによる受講生への予習する機会の提供や、「なんでもシート」に寄せられる多数の質問に対し次回の講座で回答するフィードバックを行うなど、学習の手法を工夫したことで高い満足度、修了率となった。

## 2 議事

### (1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学前期専門講座の実施状況について

講座企画・運営ボランティアスタッフ「ジャンプ」企画講座

#### 【Ⅲ 暮らしを彩る文化・教養コース】

##### ⑥俳句づくり超入門

～俳句で街を活性化、俳句を楽しみ元気に生きよう～

#### 【開催期間】

5月24日～7月5日（全7回）

#### 講師

一般社団法人 日本俳句協会 理事長 五島 高資 氏  
俳句仲間「北の会」 代表 五十嵐 藤重 氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
50名	58名	1.16倍	54名	50名（93%）	96%

#### 講座の評価

俳句の作り方や基本ルール、宇都宮にゆかりのあった俳人「与謝蕪村」や「平畑静塔」について学ぶことにより、俳句の歴史や魅力を学ぶことができる講座となった。

館外学習では、実際に八幡山公園で吟行を行い、講義で学習したことを活かす機会や受講生同士で交流する機会を提供することができたこともあり、高い満足度、修了率となった。

## 2 議事

### (1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学前期専門講座の実施状況について

## 講座全体の実績

	募集定員	応募者数	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
R6前期	410名	405名	326名	293名（89.9%）	96%
R5前期	340名	287名	282名	262名（92.9%）	97%
対前年度	+70名	+118名	+44名	+31名（△3.0%）	△1%

## 総合的な評価

募集定員の上限を60名から80名へ引き上げたが、6講座中3講座で定員を超える申込みがあり、キャンセルを見込むなど可能な限り受講決定することで、昨年度前期と比較すると受講者数は増加しており、より多くの市民に学習機会を提供することができた。

アンケートでは、**学んだ成果と講座の満足度に関する肯定的な回答がともに全体の9割を超えており**、高度で専門的な学習機会を提供する講座内容であったものと推察される。

## 今後の取組方針

受講者の高い満足度を維持できるよう、引き続き、受講者アンケートの結果などを踏まえ、講座内容の充実に努めていく。

## 2 議事

### (1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学後期専門講座の実施予定について

後期専門講座では、講座企画・運営ボランティアスタッフ企画講座を4講座、帝京大学との大学連携講座を1講座、事務局企画講座を1講座の計6講座を実施する。

#### ・ 実施概要

- (1) 開講期間 令和6年10月19日～12月13日
- (2) 会場 人材かがやきセンター研修室（中央生涯学習センター5階）ほか
- (3) 募集期間 令和6年9月2日（月）～令和6年9月17日（火）
- (4) 定員 80名（No.3とNo.6は50名）
- (5) 実施講座 下表のとおり

No.	講座名	開催日時
1	I 郷土を愛する「宇都宮学」コース うるわしき うつのみや（全5回）【事務局企画枠講座】	11月7日～12月5日の木曜日 午前10時～正午
2	II 今を読み解く現代社会コース 7つのテーマで教養を高める（全7回）【帝京大学連携講座】	11月1日～12月13日の金曜日 午後2時～午後4時
3	III 暮らしを彩る文化・教養コース 山本鼎から川上澄夫、そして現在の創作版画まで（全6回）	10月22日～12月9日の月曜日 午前10時～正午
4	III 暮らしを彩る文化・教養コース 仏教美術入門（全6回）	10月20日～12月3日の火曜日 午前10時～正午
5	III 暮らしを彩る文化・教養コース 幕末維新と志士のかたち『歴史の激動期』（全8回）	10月24日～10月31日の木曜日 午後2時～午後4時
6	III 暮らしを彩る文化・教養コース 宇宙を探るよもやま話（全5回）	10月19日～11月16日の土曜日 午前10時～正午

## 2 議事

### (2) 協議事項 令和6年度宇都宮市民大学公開講座の実施について

令和6年度も、市民大学の更なる周知と認知度向上を図るため、多くの方々に関心を持たれるような内容となるよう、各分野の第一人者（著名人等）による講義等とする（次のスライド参照）。

- 令和6年度宇都宮市民大学公開講座の実施概要  
(第1回宇都宮市市民大学運営協議会の資料(抜粋))

- 令和6年度公開講座実施(案)

(1) 実施日 令和7年3月2日(日)

(2) 会場 ライトキューブ宇都宮中ホール 又は 宇都宮市文化会館小ホール

(3) 実施内容等 生涯学習に対する社会の要請や、市が推進する地域教育の理念を踏まえ、社会的関心や今日的課題に対応した講座内容及び講師を選定する。

※ 講師の選定や開催手法等については次回の運営協議会にて協議

(4) 受講料 1,000円程度を想定

#### 【参考：令和5年度公開講座】

市民大学開校30周年を記念して、2023年WBC日本代表監督である栗山英樹氏を講師に迎えた。

募集定員の約2.5倍の応募があったことから、抽選による当選者数を1,500人から1,750人に拡大して対応した。講話は2023年WBCに日本代表として活躍した5選手の裏話が中心で、貴重な映像を見ながら監督の視点からの選手の逸話を伺い、勝利にこだわる姿勢や試合に込められた思いなどに触れ、当時を振り返りながら考えさせられる内容であった。

## 2 議事

### (2) 協議事項 令和6年度宇都宮市民大学公開講座の実施について

#### 講師候補（案）

氏名	経歴	
萩野公介氏	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 栃木県小山市出身，作新学院高等学校卒業</li><li>・ 2012年 ロンドン五輪 400m個人メドレー銅メダル獲得</li><li>・ 2016年 リオ五輪400m個人メドレー金メダル獲得</li><li>・ 2021年 東京五輪 200m個人メドレー 6位入賞</li></ul>	
榎本遼香氏	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 栃木県宇都宮市出身，作新学院高等学校卒業</li><li>・ 2021年 東京五輪 女子3mシンクロ板飛び込み 5位入賞</li><li>・ 2022年 世界選手権 女子3m板飛び込み 10位</li><li>・ 2024年 パリ五輪出場</li></ul>	
檜崎智亜氏	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 栃木県出身・栃木県立宇都宮北高校卒業</li><li>・ 2016年 ISFC世界選手権 金メダル獲得</li><li>・ 2019年 ISFC世界選手権 金メダル獲得</li><li>・ 2021年 東京五輪 スポーツクライミング 4位入賞</li><li>・ 2024年 パリ五輪出場</li></ul>	

## 2 議事

### (2) 協議事項 令和6年度宇都宮市民大学公開講座の実施について

#### 講師候補（案）

氏名	経歴	
門井慶喜氏	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 栃木県宇都宮市出身</li><li>・ 2003年 「キッドナッパーズ」で第42回オール読物推理小説新人賞受賞</li><li>・ 2018年 「銀河鉄道の父」で第158回直木賞受賞</li><li>・ 2023年 「銀河鉄道の父」が映画化</li></ul>	
坂本和加氏	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 栃木県宇都宮市出身</li><li>・ 貿易商社OLからコピーライターへ</li><li>・ 合同会社コトリ社代表</li><li>・ 主なコピー： 「カラダに、ピース。カルピス」「WAON（ネーミング）」</li><li>・ 受賞歴：毎日広告デザイン賞最高賞，朝日広告賞最高賞など</li></ul>	
紗栄子氏	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 大田原市在住</li><li>・ モデル，タレント</li><li>・ 牧場「NASU FARM VILLAGE」経営</li><li>・ 緊急事態宣言が明けて牧場に行った際，牧場の危機を知って再建を決意</li></ul>	

## 2 議事

### (2) 協議事項 令和6年度宇都宮市民大学公開講座の実施について

#### 講師候補（案）

氏名	経歴	
河村拓哉氏	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 栃木県鹿沼市出身，宇都宮短期大学附属中学・高等学校卒業</li><li>・ YouTuber，クイズプレイヤー</li><li>・ 2016年に伊沢拓司らとともにQuizKnockを創設</li><li>・ 現在はYouTube動画の企画・出演等を行う。</li></ul>	
syudou氏	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 栃木県出身</li><li>・ シンガーソングライター，作曲家</li><li>・ 『邪魔』，『インザバックルーム』などYouTubeで1000万再生越えの多くのヒット作を生み出す</li><li>・ 2020年 歌手「Ado」に「うっせえわ」の楽曲提供</li></ul>	

## 2 議事

### (2) 協議事項 令和7年度宇都宮市民大学実施方針（案）について

#### 1 実施方針

本市の社会教育分野において最も基本となる計画である「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」に基づき、市民のスキルアップやキャリアアップに生かせる高度で専門的な学習ニーズに応えるとともに、「生涯学習センター主催講座」や「人材かがやきセンター主催講座」との差別化を図り、本市の生涯学習事業の中で唯一の有料講座として、心豊かに市民生活を送るための教養講座や、郷土愛を育む地域の文化・歴史講座など、市民の学ぶ意欲を高め、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える学習機会の提供に引き続き取り組む。

令和7年度については、令和6年度の実施状況などを踏まえ、以下の点に取り組む。

#### ● 専門講座の定員の引上げ

より多くの市民に受講機会を提供するため、抽選の結果落選となる応募者が極力少なくなるよう、定員の上限を90名に引き上げる。

#### ● オンライン配信導入の検討

時間や場所の制約を受けずに参加・利用できるというデジタルを活用することの利点を生かした学習環境づくりに取り組む。

## 2 議事

### (2) 協議事項 令和7年度宇都宮市民大学実施方針（案）について

## 2 令和7年度宇都宮市民大学公開講座

多くの市民に学習機会を提供することにより、受講者の学習意欲の高揚を図るとともに市民大学の更なる周知による認知度の向上と市民の受講促進を図る。

### 1 実施概要

#### ① 実施時期

令和8年2月頃（令和7年度宇都宮市民大学後期専門講座閉講後）

#### ② 会場

ライトキューブ宇都宮中ホール等

#### ③ 講師

各分野の第一人者（著名人等）

#### ④ 受講料

1,000円程度

※詳細については、令和7年8月開催予定の第2回運営協議会で協議する。

## 2 議事

### (2) 協議事項 令和7年度宇都宮市民大学実施方針（案）について

## 3 専門講座

コース設定は3コースとする。

実施講座数は12講座とし、定員の上限は90名とする。

### ① コース設定（3コース）

#### ア 郷土を愛する「宇都宮学」コース

郷土「宇都宮」の歴史や文化、産業、自然、民俗など「宇都宮」の特質や魅力について学び、「宇都宮」に誇りや愛着をもつための講座

※ 開催回数の半数以上が宇都宮（人・物・歴史等）に関する内容であることを条件とする。

#### イ 今を読み解く現代社会コース

個人や社会を取り巻く環境がめまぐるしく変化する現代社会において、より賢く快適に暮らしていくため、社会の流れを読み解き、暮らしや地域コミュニティに活かしていく知恵を学ぶ講座

#### ウ 暮らしを彩る文化・教養コース

芸術・文学・科学のほか、先進技術など広範で学術的なテーマから深い教養を身に付け、潤いのある生活を送るための講座

※ 宇都宮市以外の地域をテーマとした文化・歴史などが対象となる。

## 2 議事

### (2) 協議事項 令和7年度宇都宮市民大学実施方針（案）について

## 3 専門講座

### ② 実施講座数（12講座）

#### ア 前期（5月下旬～7月中旬）

**6講座**（内訳：Vスタッフ企画5講座，大学連携1講座）

#### イ 後期（10月下旬～12月中旬）

**6講座**（内訳：Vスタッフ企画4講座，大学連携1講座，事務局枠1講座）

### ③ Vスタッフ企画講座の選考方法

#### ア 募集要項 ⇒ **別紙1参照**

#### イ 講座企画運営選考委員会の開催

選考の透明性を確保し客観的な視点から講座を選考するため、専門的な知識を有する委員による講座企画運営選考委員会（以下「委員会」という。）を開催する。

⇒ **別紙2参照**

※ Vスタッフのスキルアップを図るため、希望者には委員会の傍聴を認める。

#### ウ 実施講座の決定

委員会の選考結果を踏まえ、11月開催予定の令和6年度第3回運営協議会において決定する。

## 2 議事

### (2) 協議事項 令和7年度宇都宮市民大学実施方針（案）について

## 3 専門講座

### ④ 受講者の決定方法

#### ア 申込者が募集定員以内の場合

- ・ 申込者全員を受講者とする。

#### イ 申込者が募集定員を超えた場合

- ・ 講師等との調整により、定員の増員について検討する。
- ・ 次の者を優先的に受講決定する。

- ① 初めて市民大学に申込みをした者
- ② 前回の抽選で落選となり、講座をひとつも受講できなかった者
- ③ 複数の講座に申込みをし、その講座全てが抽選となる者

### ⑤ 館外学習の実施について

ア 採用された企画に館外学習が予定されている場合、企画者が作成した行程表(案)をもとに、現地学習の実現性を事務局が検討した結果、内容に応じて現地学習から座学へ変更する場合もある。

イ 館外学習を予定する企画において、企画者が作成した事前調査行程表(案)の内容が適切か、また安全上問題はないかを事務局が確認する。

ウ 受講者の館外学習における費用は、実費負担とする。ただし、館外学習における講師、企画者及び事務局同行者の費用は、事務局が負担する。

## 2 議事

### (2) 協議事項 令和7年度宇都宮市民大学実施方針（案）について

## 3 専門講座

- 大学連携について  
 市内6大学との連携による講座を引き続き実施する。  
 令和7年度 前期 宇都宮短期大学  
                   後期 宇都宮大学

#### 【参考】

#### 大学連携講座実施校一覧表

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
宇都宮短期大学	○						○	
宇都宮大学		○						○
文星芸術大学			○					
作新学院大学				○				
宇都宮共和大学					○			
帝京大学						○		

## 2 議事

### (2) 協議事項 令和7年度宇都宮市民大学実施方針（案）について

## 4 今後のスケジュール

時 期	内 容
9月上旬	第1回講座企画・運営ボランティアスタッフ連絡会議 ・ 令和6年度専門講座企画募集要項等の説明
9月中旬	専門講座企画募集開始
10月中旬	専門講座企画募集の締め切り，書類審査
11月上旬	講座企画運営選考委員会 ・ プレゼンテーション審査，企画選考
11月下旬	第3回運営協議会 ・ 実施講座の決定

### 3 その他 宇都宮市民大学運営協議会等の委員改選について

委員の委嘱期間満了に伴う新たな委員の選任について報告するもの

## 1 協議会及び委員会の所掌事務等

名称	宇都宮市民大学運営協議会	宇都宮市民大学 講座企画運営選考委員会
設置根拠	宇都宮市民大学 運営協議会運営要領	宇都宮市民大学 講座企画運営選考委員会運営要領
所掌事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企画講座の承認</li> <li>・ 運営に関すること</li> <li>・ 予算及び決算の承認</li> <li>・ 共催事業に関すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門講座企画運営（案）の審査 （Vスタッフが企画した専門講座の選考をするための組織）</li> </ul>
委嘱期間	2年	2年
開催回数	年3回	年1回
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学識経験者</li> <li>・ 生涯学習関係者</li> <li>・ Vスタッフ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学識経験者</li> <li>・ 生涯学習関係者</li> <li>・ 市職員</li> </ul>
委嘱者	学長（市長）	学長（市長）
定員数（現委員数）	10名以内（10名）	10名以内（10名）

### 3 その他 宇都宮市民大学運営協議会等の委員改選について

## 2 委員選任の考え方

### (1) 基本的な考え方

市民大学の事業を円滑かつ効果的に運営するための協議会と、専門講座の企画運営を行う委員会のそれぞれの特性に対応できる委員を選任するものとする。

### (2) 宇都宮市民大学運営協議会委員

学識経験者	市内の高等教育機関との連携を促進するとともに、各校が有する講座開催に関するノウハウを市民大学に活かすため、 <b>各大学等関係者から4名</b> を選考する。
生涯学習関係者	社会情勢の変化や市民ニーズを的確に把握するため、 <b>マスコミやボランティア関係者、生涯学習センター運営審議会等関係者から5名</b> を選考する。
Vスタッフ	講座企画・運営ボランティアスタッフの視点を事業運営に反映するため、 <b>1名</b> を選考する。

### (3) 宇都宮市民大学講座企画選考委員会委員

学識経験者	市内の高等教育機関との連携を促進するとともに、各校が有する講座開催に関するノウハウを市民大学に活かすため、 <b>各大学等関係者から3名</b> を選考する。
生涯学習関係者	社会情勢の変化や市民ニーズを的確に把握するため、 <b>マスコミやボランティア関係者、生涯学習センター運営審議会等関係者から3名</b> を選考する。
協議会委員	協議会との連携を図るため、 <b>1名は協議会との委員を兼ねる。</b>
市職員	生涯学習課長、中央生涯学習センター所長、会計年度任用職員（人材かがやきセンター支援業務）の <b>計3名</b>

### 3 その他 宇都宮市民大学運営協議会等の委員改選について

## 3 次期委員（案）について

【令和6年9月1日から令和8年8月31日の次期委員（案）】

所属	改選前		改選後	
	協議会	委員会	協議会	委員会
宇都宮短期大学		○	○	
宇都宮大学	○		○	
文星芸術大学	○	○※	○	
作新学院大学		○		○
宇都宮共和大学	○			○
帝京大学		○		○

※協議会との連携を図るための兼任

## 4 閉会

### 【連絡事項】

- (1) 次回の会議日程について  
(令和6年11月頃 開催予定)

## I 令和7年度市民大学の実施方針について

本編資料「令和7年度宇都宮市民大学の実施方針（案）について」のとおり

## II 市民大学専門講座の募集概要

次のとおり、専門講座の企画を募集する。

### 1 募集分野（コース）

#### (1) 郷土を愛する「宇都宮学」コース

郷土「宇都宮」の歴史や文化、産業、自然、民俗など「宇都宮」の特質や魅力について学び、「宇都宮」に誇りや愛着をもつための講座

※ 開催回数の半数以上が宇都宮（人・物・歴史等）に関する内容であるもの

#### (2) 今を読み解く現代社会コース

個人や社会を取り巻く環境がめまぐるしく変化する現代社会において、より賢く快適に暮らしていくため、社会の流れを読み解き、暮らしや地域コミュニティに活かしていく知恵を学ぶ講座

#### (3) 暮らしを彩る文化・教養コース

芸術・文学・科学のほか、先進技術など広範で学術的なテーマから深い教養を身に付け、潤いのある生活を送るための講座

※ 宇都宮市以外の地域をテーマとした文化・歴史などが対象となる。

### 2 募集講座数

各コース合わせて9講座

### 3 応募資格

宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ（Vスタッフ）の個人又はグループを対象とする。

### 4 応募方法

#### (1) 応募受付期間

令和6年9月9日（月）から10月11日（金）

#### (2) 提出書類

- ① 令和7年度宇都宮市民大学専門講座応募申込書
- ② 令和7年度宇都宮市民大学専門講座企画書（様式1）
- ③ 令和7年度宇都宮市民大学専門講座企画書（学習プログラム）（様式2）

#### (3) 提出先

宇都宮市民大学事務局（人材かがやきセンター内）

#### (4) 提出方法

直接、メール又は郵送

※ 応募書類の返却は不可

※ 提出書類の様式について、電子データの様式を希望する方は、

[college@city.utsunomiya.tochigi.jp](mailto:college@city.utsunomiya.tochigi.jp) 宛てご連絡ください。

## 5 講座決定までの流れ

### (1) 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の実施

書類審査を通過した企画は、令和6年11月上旬に、選考委員会によるプレゼンテーション審査を実施する。講座企画運営選考委員会の日程については、応募書類提出後に改めて通知する。

### (2) 宇都宮市民大学運営協議会における審議

上記選考委員会の審査結果を第3回運営協議会に報告し、審議の上、採用する企画を決定する。選考結果については、応募グループ代表者に一括して通知する。

## 6 講座企画者の役割

採用された講座の企画者は、講座企画運営選考委員会の意見を講座内容に取り入れるとともに、事務局担当者と協力して、講座内容のより一層の充実を図る。

また、講師との調整、広報紙等の校正協力のほか、講座当日の会場設営・進行・後片付けなど講座開催に関する業務を、事務局職員等と協力して主体的に担う。

## 7 講座企画上の留意点

- (1) 講座回数は、6～7回を標準として8回を限度とする。
- (2) 1回の講座時間は、2時間とする。
- (3) 定員は、90名を上限とする。
- (4) 開催時期について、前期講座は5月下旬～7月中旬、後期講座は10月下旬～12月中旬とし、同じ曜日、同じ時間帯を原則とする。
- (5) 会場は、人材かがやきセンター研修室（中央生涯学習センター5階）を使用すること。それ以外の会場を使用する場合は、企画書に必要性を併せて明記すること。
- (6) 受講料は、事前に事務局が徴収する。（1回500円×講座回数分）
- (7) 受講料のほかに材料費やテキスト代が想定される場合は明記すること。
- (8) 託児サービスは、実施しない。
- (9) 営利目的や特定の政党・候補者の利害に関すること、特定の宗教・教派・教団を支援する内容は認められない。
- (10) 講座の講師予定者と事前に連絡や相談などを行う場合には、講座は企画の段階であり、講座開催が確定していない旨を説明し、講師に誤解を与えることのないよう留意すること。
- (11) 講師謝金は、「市民大学における講師謝金」に基づき支出する。  
なお、講師謝金については事務局で判断することから、具体的な謝金等については講師予定者に提示しないこと（交通費も同様とする）。
- (12) 講座決定後、館外学習を実施する場合は、予定している行程表（案）を作成すること。

## 8 その他

- (1) 募集期間中における応募状況や他の企画内容についての問合せは受け付けない。
- (2) グループによる企画については、通知等をグループ代表者に送付する。
- (3) 令和6年度の講座数は、Vスタッフ企画9講座，大学連携講座2講座，事務局企画1講座の計12講座とする。

### 【大学連携講座】

令和6年度 宇都宮共和大学，帝京大学

令和7年度 宇都宮短期大学，宇都宮大学

- (4) 採用された企画には、企画運営に必要な費用を講座企画運営費として実費を交付する（1講座3万円を上限）。（予定）
- (5) 募集要項に記載のない事項については、事務局に確認すること。
- (6) 応募申込書，企画書（様式1），企画書学習プログラム（様式2）について，電子データの様式を希望する場合は，事務局に申し出ること。

## 「審査項目」と「審査基準」

(「プレゼンテーション審査マニュアル」より抜粋)

審査項目は、下表のとおりとする。

### 1 審査項目

(1)	社会ニーズ	社会の変化や要請，地域の特性や文化など，本市のまちづくりやコミュニティの発展，あるいは市民の郷土理解に資する社会的な視点やねらいが盛り込まれているか。
(2)	市民ニーズ	市民が求める高度で専門的な学習ニーズをとらえているか。
(3)	構成力	設定された講座のねらいに沿った各回の展開や組み立てがされているか，また実習やワークショップなど，学習効果を高めるための工夫がされているか。
(4)	運営力	適切な講師の想定，事前準備や講座運営に対する考え方など，確実に講座を運営していくための体制が整っているか。 <u>ただし，企画応募条件において，講師の確保までは求めないこととしているため，想定講師の受諾については審査に加味しない。</u>
(5)	発展性	講座を契機とするネットワークの形成，学んだことを実践し，生かせる仕組みづくりや導入，リーダー養成に資するスキルの習得など，受講者の行動や考え方の変化を促す効果があるか。

### 2 審査基準

点数	審査基準
5	とても優れている
4	優れている
3	やや優れている
2	やや劣っている
1	劣っている

## 令和7年度宇都宮市民大学専門講座応募申込書

令和 年 月 日

別紙の企画書（様式1）及び企画書学習プログラム（様式2）のとおり、  
令和7年度宇都宮市民大学専門講座企画募集に応募いたします。

代表者 氏名	
住所	〒
連絡先等	(自宅) ( ) (FAX) ( ) (携帯) - - (Email)
備考	

※ 個人情報については、宇都宮市民大学事業のみに使用させていただきます。  
事業目的以外には使用いたしません。

※ 御不明な点は、宇都宮市民大学運営協議会事務局（632-2674）  
担当の田中までお問い合わせください。



7	会 場	人材かがやきセンター研修室
8	受 講 料	円 ( 回×500円) 実費徴収 <input type="checkbox"/> 有 (目的: , 金額: 円) <input type="checkbox"/> 無
9	収 支 (見込み)	○ 受講料収入: 円 ( 名× 円) ○ 講 師 謝 金: 円 ※講師謝金一覧に基づく, おおむねの謝金額 (交通費も含む) 【算出根拠】 _____ _____ ○ 差 し 引 き: 円
10	ス タ ッ フ	企画者 人
11	そ の 他 特記事項	・ ・

令和7年度宇都宮市民大学専門講座企画書

様式 1

企 画 者	(グループ名がある場合は名称) あさひ			
	企画者氏名 (養成講座修了年度) ※グループ代表者に◎印, 企画代表者に○を付ける <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">企画代表者に○を付ける</span>			
	①	栃木 太郎 (平成30年度)	5	横川 明子 (平成29年度)
	2	宇都宮 花子 (平成28年度)	6	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">養成講座修了年度を記入</span>
	③	平石 次郎 (令和3年度)	7	(平成 年度)
4	清原 (令和4年度)	8	(平成 年度)	

グループ代表者に◎を付ける

1	コ ー ス 分 類	<input type="checkbox"/> 郷土を愛する「宇都宮学」コース ※開催回数の半数以上が宇都宮(人・物・歴史等)に関する内容であるもの
		<input type="checkbox"/> 今を読み解く現代社会コース
		<input checked="" type="checkbox"/> 暮らしを彩る文化・教養コース <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当てはまるコースの□を塗りつぶす</span>
2	講 座 名 サ ブ タ イ ト ル	「今こそ陶芸から学ぶ」 ～世界, 地域, 教育の視点から陶芸について考える～
3	希 望 期 間	<input type="checkbox"/> 第1希望 ( ① ) <input type="checkbox"/> 第2希望 ( × ) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">第2希望がない場合は, ×を記入</span>
4	希 望 曜 日 時 間 帯	<input type="checkbox"/> 第1希望 火 曜日 時間帯 ( ② ) <input type="checkbox"/> 第2希望 月 曜日 時間帯 ( ③ ) <input type="checkbox"/> 第3希望 木 曜日 時間帯 ( ② ) ※水曜日の午前, 午後は一般研修等により研修室は使用できません。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">右欄の時間帯の番号を記入</span>
		① 前期 (5月下旬～7月) ② 後期 (10月中旬～12月上旬)
		①早朝 (午前6時～8時) ②午前 (午前10時～正午) ③午後 (午後2時～4時)
		6時30分～8時30分 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">講座の開催曜日を第3希望まで記入</span>
5	定 員	90名 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">令和6年度は, 上限90名</span>
6	内 容	全 7 回 詳細は別紙様式2学習プログラムのとおり

7	会 場	人材かがやきセンター研修室
8	受 講 料	3,500円 ( 7 回×500円) 実費徴収 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (目的 陶芸実習材料費 金額: 1,000 円) <input type="checkbox"/> 無
9	収 支 (見込み)	<p>講座に係る収支を記載</p> <p>講座の回数を記入</p> ○ 受講料収入: 105,000 円 ( 30 名× 3,500 円) ○ 講 師 謝 金: 210,000 円 ※講師謝金一覧に基づく, 概ねの謝金額 (交通費も含む) 【算出根拠】 <u>全回・大学教授クラス 30,000円×7回</u> <hr/> ○ 差 し 引 き: ▲105,000 円
10	ス タ ッ プ	10 人程度 (企画者 7 人, 運営ボランティア 3 人)
11	そ の 他 特 記 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 館外学習を1回 (1日) 予定</li> <li>・ 期間については, 予定している講師の都合により「前期」にしか設定できません</li> </ul>

No. \_\_\_\_\_

様式 2

令和7年度宇都宮市民大学専門講座企画書（学習プログラム）

講座名 サブタイトル	
企画の 目的・効果	
講座概要	
実施に伴う 課題・対応	
アピール ポイント	

回	期日	テーマ	ねらい	
1	月 日 ( )			
		内 容	学習方法	講 師
			<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技等 <input type="checkbox"/> ワークシヨッフ° <input type="checkbox"/> 他 (        )	
2	月 日 ( )	テーマ	ねらい	
		内 容	学習方法	講 師
			<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技等 <input type="checkbox"/> ワークシヨッフ° <input type="checkbox"/> 他 (        )	
3	月 日 ( )	テーマ	ねらい	
		内 容	学習方法	講 師
			<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技等 <input type="checkbox"/> ワークシヨッフ° <input type="checkbox"/> 他 (        )	
4	月 日 ( )	テーマ	ねらい	
		内 容	学習方法	講 師
			<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技等 <input type="checkbox"/> ワークシヨッフ° <input type="checkbox"/> 他 (        )	

5	月 日 ( )	テーマ	ねらい	
		内 容	学習方法	講 師
			<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技等 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> 他 (        )	
6	月 日 ( )	テーマ	ねらい	
		内 容	学習方法	講 師
			<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技等 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> 他 (        )	
7	月 日 ( )	テーマ	ねらい	
		内 容	学習方法	講 師
			<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技等 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> 他 (        )	
8	月 日 ( )	テーマ	ねらい	
		内 容	学習方法	講 師
			<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技等 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> 他 (        )	

令和7年度宇都宮市民大学専門講座企画書（学習プログラム）

<p>講座名 サブタイトル</p>	<p>今こそ陶芸から学ぶ ～世界、地域、教育の視点から陶芸について考える～</p>
<p>企画の 目的・効果</p> <p>企画した講座の趣旨(ねらい)や全コマ受講した後の効果を記入。また、特にターゲットとする受講者等がある場合にはその旨も記入。</p> <p>講座概要</p> <p>講座の概要を明記してください(パンフレット参照)</p>	<p>この講座は、実は「社会貢献活動」のきっかけづくりを目的とする。東日本大震災以降、強く必要とされている「人と人との絆」。現在も、被災地に対するボランティア活動などの取組が行われている状況であり、「絆」の再構築を通して、社会教育の在り方を見直す契機であるとも言われている。</p> <p>この企画では、「陶芸」という文化的・趣味的な講座を前面に出しながらも、各講義の中で、陶芸を例示とした社会貢献活動に関わる学びや、「ぎぶん展」に参画することで、『「地域貢献活動」の経験』と『「絆」の構築』に自然と関わっていくこととなり、また、受講された方々の経験の伝承などをおして、その家族や友人を含め「地域活動」への参加や「社会貢献活動」への参加にも繋がるものと考えている。</p> <p>陶芸の歴史は人の営みとともに古く、作陶技術は、時代を経て変遷し、生活に身近な器から心を豊かにしてくれる芸術作品までと、私たちとのかかわり方も幅広いものとなり、地域の観光振興や文化交流などに貢献する重要な地域資源ともなっている。</p> <p>本講座では国際的な視点から陶芸の歴史や文化を学んでいく。多くの被災を受けながらも、今に受け継がれ進化を続ける陶芸文化の力強さとその魅力に、グローバルな視点で注目していく。</p> <p>また、文星芸術大学が取り組んでいる陶芸を通じた特別支援教育現場との交流・地域活動等から、「陶芸の力が育む『人づくり』」や「陶芸の力が生み出した『ユニバーサルデザイン』」など、陶芸がもたらす様々な効果や効用を事例から学び、「陶芸」の今後の更なる可能性について学んでいく。</p>
<p>実施に伴う 課題・対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ぎぶん展」のバックヤード見学などがあることから、安全確保に十分に努める必要がある。実施に際しては、十分な事前の連絡調整、会場の下見などを事務局とともに実施することにより対応する。また、運営ボランティアの人数確保にも努める必要がある。</li> <li>陶芸の実習を伴うことから、実習費が高額にならないよう、効果的・効率的な実施内容について、講師と調整・検討していく。</li> </ul>
<p>アピール ポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの方に人気がある講師から学べることから、定員を超える申込みが期待できる。</li> <li>「陶芸」に興味をもって参加した方に対し、講義や作陶による充足・満足感などのいわゆる「個人の要望」に応えることはもとより、陶芸を通じた「人との絆づくり」や「社会貢献活動への直接参加」により、地域活動を積極的に盛り上げる人材の育成も行うことから、「社会の要請」にも寄与する大変有意義な講座であると考えている。</li> </ul>

コマごとの学習の「ねらい」について簡潔に記入

回	期日	テーマ	ねらい	
1	11月1日 (火)	戦乱と陶の歴史 (西洋と東洋の境界線～トルコの風～)	トルコの陶芸文化の力強さとその魅力について学ぶ。	
		内 容	学習方法	講 師
		日本と同様に地震の多いトルコでは、陶器も多くの被災を受けている。しかし、長い年月をかけて伝統を受け継ぎ、進化を続けている様子を講師の撮影した映像を交えながら学ぶ。	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技等 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> 他 ( )	○○大学 教授 ○○○○ 氏
		テーマ	ねらい	
		内 容	具体的に肩書きがわかるよう記入 【例】 ・○○○審議委員会委員 ・△△病院 理学療法士 ※未定の場合は、○○専門家、大学教授クラス等と記入 <input type="checkbox"/> 他 ( )	
	月 日 ( )			講 師

コマごとの講義内容について、簡潔に記入

具体的に肩書きがわかるよう記入  
【例】  
・○○○審議委員会委員  
・△△病院 理学療法士  
※未定の場合は、○○専門家、大学教授クラス等と記入